

くまもと

⇒ 議会だより

86号

2017.4.25



球磨村の新名所

『毎床大桜』

こくも

- 3月の定例会2~4
- 一般質問における発言の要旨一覧5
- 一般質問6~11
- 地域の宝「高沢鍾乳洞」12

29年度一般会計予算は31億5千万円

3月定例会は、3月10日から17日までの8日間の日程で開催し、専決処分の報告1件、条例7件、平成28年度一般会計補正予算及び特別会計4件、平成29年度一般会計予算及び特別会計4件を審議、一般会計補正予算の1件が修正可決されました。また、農業委員の選出方法が公選制から任命制になるのに伴い農業委員会委員任命同意の7件はいずれも原案のとおり同意、可決しました。

一般質問では6人が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えをたきました。

定例会初日の10日は、まず12月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会、人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

次に、議案では、専決処分の報告、公益的法人等への球磨村職員の派遣等に関する条例の制定など、また、予算関係で平成28年度一般会計補正予算、平成29年度一般会計当初予算、球磨村農業委員会委員任命同意など、合計25議案を上程しました。

【一般質問】

13日の一般質問には、宮本宣彦議員、田代利一議員、犬童勝則議員、嶽本孝司議員の4名の議員が登壇。空き家の状況、田舎の体験交流館「さんごうら」の状況、肥薩線の活用、観光振興、農業振興、熊本県食料・農業・農村計画、球磨村しごと創生事業、美しい村づくり、いじめ問題についてなど、また、14日の一般質問には、舟戸治生議員、小川俊治議員の2名が登壇。政策への取組、29年度村政、球磨村防災会議についてなど多岐にわたって執行部の考えを質問しました。（詳細は5頁〜11頁に掲載）

【予算関係】

補正予算関係では、初日に上程した平成28年度一般会計補正予算で※修正動議があり内容を一部修正して提出された一般会計並びに国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、簡易水道の各特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

新年度当初予算関係では一般会計は、歳入歳出それぞれ31億5,000千円、国民健康保険特別会計6億1,300千円、後期高齢者医療特別会計52,455千円、介護保険特別会計6億6,368千円、簡易水道特別会計58,000千円で、総額45億3,794千円となりました。

※一勝地永崎団地の土地購入に関わる補償費が周辺の購入額と比べ非常に高いため、議員より修正動議（補償費1,303千円を減額する修正案）が提出され可決されました。



今年も発行予定の商品券



単身者でも入居可能な集合住宅建設予定の永崎団地



引き続き改良が計画されている村道神瀬大岩線

【人事関係】

球磨村農業委員会

委員任命同意について

農業委員会の委員の選出方法が公選制から任命制への法律改正がなされたことから、今年7月から農業委員に次の7名の方が同意されました。

・農業委員

大無田満浩氏（大久保地区）

内布 敬正氏（内布地区）
 永椎 沢雄氏（木屋角地区）
 田代 知敏氏（田代地区）
 大無田恵子氏（大無田地区）
 岡 忠康氏（岡地区）
 舟戸 勝也氏（舟戸地区）

【予算関係】

臨時議会

平成28年度一般会計補正予算を

審議し、原案のとおり可決されました。
 主な内容は、まち、ひと、しごと創生関係の7,832千円の減、村有施設整備基金積立金の2,133千円の増など、合計8,480千円を減額し、歳入歳出総額40億29,620千円となりました。



議案等の審査結果

日程	議案番号	件名	結果	日程	議案番号	件名	結果
第1	報告第1号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定)	報告	14	議案第13号	平成29年度球磨村一般会計 予算について	原案可決
2	議案第1号	公益的法人等への球磨村職員 の派遣等に関する条例の制定 について	原案可決	15	議案第14号	平成29年度球磨村国民健康 保険特別会計予算について	原案可決
3	議案第2号	球磨村太陽光発電設備維持管 理基金条例の制定について	原案可決	16	議案第15号	平成29年度球磨村後期高齢 者医療特別会計予算について	原案可決
4	議案第3号	球磨村職員の勤務時間、休暇 等に関する条例の一部を改正す る条例の制定について	原案可決	17	議案第16号	平成29年度球磨村介護保険 特別会計予算について	原案可決
5	議案第4号	球磨村報酬及び費用弁償に関 する条例の一部を改正する条 例の制定について	原案可決	18	議案第17号	平成29年度球磨村簡易水道 特別会計予算について	原案可決
6	議案第5号	球磨村一般職の職員の給与に 関する条例の一部を改正する 条例の制定について	原案可決	19	同意第1号	球磨村農業委員会委員任命の 同意について	原案同意
7	議案第6号	球磨村職員の旅費に関する条 例の一部を改正する条例の制 定について	原案可決	20	同意第2号	球磨村農業委員会委員任命の 同意について	原案同意
8	議案第7号	球磨村税条例等の一部を改正 する条例の制定について	原案可決	21	同意第3号	球磨村農業委員会委員任命の 同意について	原案同意
9	議案第8号	平成28年度球磨村一般会計 補正予算について	修正可決	22	同意第4号	球磨村農業委員会委員任命の 同意について	原案同意
10	議案第9号	平成28年度球磨村国民健康保 険特別会計補正予算について	原案可決	23	同意第5号	球磨村農業委員会委員任命の 同意について	原案同意
11	議案第10号	平成28年度球磨村後期高齢 者医療特別会計補正予算につ いて	原案可決	24	同意第6号	球磨村農業委員会委員任命の 同意について	原案同意
12	議案第11号	平成28年度球磨村介護保険 特別会計補正予算について	原案可決	25	同意第7号	球磨村農業委員会委員任命の 同意について	原案同意
13	議案第12号	平成28年度球磨村簡易水道 特別会計補正予算について	原案可決				

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨
宮本宣彦議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空き家の防犯、防災上の対応と移住、定住に係る利活用 2. 田舎の体験交流館「さんがうら」の運営と管理のあり方 3. 肥薩線を未来につなぐ協議会の発展的解散での対応
田代利一議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光列車「かわせみ、やませみ」号の対策 2. 一勝地駅横の倉庫利用や駅周辺の活性化対策 3. 中山間地域直接支払制度と多面的機能支払交付金の活用 4. 奨励作物の作付状況と売れる作物の推進 5. 6次産業化の推進
犬童勝則議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 熊本県食料、農業、農村計画 <ol style="list-style-type: none"> (1) 農業の担い手の確保と育成 (2) 6次産業化の推進 2. 球磨村しごと創生事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 清流を活用した産業創出 (2) 日本の棚田百選と耕作推進事業
嶽本孝司議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美しい村づくりについて（現状を踏まえての今後の展望） 2. 学校、職場でのいじめの実態
舟戸治生議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 政策への取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもは村の宝 (2) 安心安全な暮らしの環境づくり
小川俊治議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 29年度村政の重要課題 2. 球磨村まち、ひと、しごと創生事業 3. 球磨村防災会議の今後の取組とブロック会議を受けての課題

田舎の体験交流館「さんがうら」の 経営のあり方は

答 黒字経営を目指し、体力を付けた時点で、法人化するなりしていきたい。

宮本議員 村が空き家の状況を把握

されている中で、老朽化した家屋のうち、倒壊のおそれがある家屋に対する考え方は。

柳詰村長 危険がある状況が確認されれば、消防署あるいは村ともに、所有者に危険であると申し上げることはしなければならぬ。条例とか、そのことについてはまだ考えていない。

宮本議員 空き家バンクを利用し、登録や相談、住むこととなった定住移住の実績など、近況は。

柳詰村長 平成28年3月からは、空き家バンク制度を開始し、これまでに10件の登録があり、うち3件の利活用がされている。

宮本議員 田舎の体験交流館さんがうらは、平成23年に開館し6年を経過する中で、その経営状況を踏まえ、どのような体制で経営して行かれる

か。将来に向けた考えは。

柳詰村長 平成28年度には、体験交流や宿泊業務に農業部門を加え、経営の強化を図った。しかし、熊本地震の影響などもあり、12月末現在で対前年比59.2%という収益であった。平成29年度は、7年目となるので、正念場と捉え、自分たちの給料は自分たちで稼げるように、安定した経営を目指したい。収入の大半である宿泊を増やすために積極的な営業を行い、シーズン中に稼ぎ、体験内容の充実を図って交流者を増加させること、農産物による農業収入を上げることが挙げられる。

宮本議員 肥薩線を未来へつなぐ協議会を発展的に解消し、肥薩線の振興を図る新たな組織を立ち上げられると聞いている。村長は、この経過についてどのような判断をされ、どのような意見を出されたか。新組織



宮本 宣彦 議員

の立ち上げへの考えについて村長の考えは。

柳詰村長 肥薩線を未来へつなぐ協議会は、世界遺産登録推進やD51蒸気機関車復活運行等を主な事業として平成20年に設立された。一方、肥薩線利用促進存続協議会は、昭和56年に設立されて30年以上が経過しており、設立当初からの状況が大きく変わり、肥薩線は観光列車が最も多く走る路線となった。このような状況の中でこれからの方向性として、双方の協議会を発展的に解散し、新協議会を立ち上げることとなった。肥薩線には、本村が関わる駅が多いので、利用促進や魅力発信事業を精力的に行い、住民の皆さんの移動手段を守り、観光振興に繋げたい。

宮本議員 一勝地駅、元JAの倉庫、



肥薩線「川線」の魅力を発信

更に渡駅を購入した中で、一勝地・渡の玄関口のみならず、球磨村観光の窓口と捉えられる。村長の思いは。
柳詰村長 川線を大事にして、もう少し力強くやって行きたい。JRとともに、この魅力を発信して行きたい。

6次産業化、農業振興強化の振興は

答 筍、椎茸、ワラビ、ゼンマイなどの特用林産物が手取り早い。また、養魚場の再開発などで6次産業化を推進。体制づくりややりやすい仕事場をつくるのが大切だ。



田代 利一 議員



一勝地駅舎の有効利活用を

田代議員 「かわせみ・やませみ」号運行開始日の一勝地駅でのおもてなしは大成功であったが、おもてなしだけではなく、球磨村に降りてお金を落としてもらうことが重要だ。今後の取り組みは。

柳詰村長 メインの観光地を周遊する観光ルートを商品化し、2時間コースのタクシープランも造成したので、継続的な観光PRキャンペーンや、これまでお付き合いいただいているエージェントとのパイプを強めて、観光客の集客に努めたい。

金栗企画振興課長 JRお勧めの宿やJRウォーキングなど、JRとの協力による営業が必要である。

田代議員 一勝地駅の倉庫の空間が有効利用されずに非常にもったいない。今後の利活用は。

柳詰村長 地方創生の中で取り組みことで計画している。

田代議員 拠点整備交付金の一勝地地区賑わい創生計画、渡地区小さな拠点整備計画について説明を。

柳詰村長 一勝地駅は、一勝地地区賑わい創生計画の中で進めることとし、倉庫の改修を行い、観光情報発信スペースを広げ、常設の物産販売スペースを設ける計画である。

渡 渡地区小さな拠点整備計画の中で進めることとし、コミュニティバス・JR・タクシーの乗り継ぎの交通結節点として、現在JRの利用客のみ対象としている待合室を他の交通手段利用者も利用できるように広げ、一角に観光情報発信スペースを設ける計画である。

田代議員 本村の農業は、水稻を

基幹産業作物として、たばこ、果樹、畜産などを組み合わせた複合経営が主体である。生産調整などのきつかけで、農地の荒廃が顕著で、農業従事者の高齢化、兼業化により、生産量や農業収入は減少している状況である。農業意欲も減退している。中山間地域直接支払制度及び多目的機能支払交付金の活用状況は。

柳詰村長 中山間地域直接支払制度は、高齢化過疎化の進行に伴う担い手不足、耕作放棄地の増加など、農業生産活動の継続を確保するために協定を結んだ集落に対し事業を実施している。平成27年度より第4期目がスタートし、現在、7集落がこの制度を利用している。

多目的機能支払交付金は、共同活動による多面的機能の維持、発揮を図るため積極的に活用し、集落機能の再編・強化を進めながら地域の農業・農村の活性化や持続的発展を目指すもので、協定を結んだ3地区が活用されている。

7集落がこの制度を利用している。

多目的機能支払交付金は、共同活動による多面的機能の維持、発揮を図るため積極的に活用し、集落機能の再編・強化を進めながら地域の農業・農村の活性化や持続的発展を目指すもので、協定を結んだ3地区が活用されている。

認定農家の育成支援は

答 データに基づいた生産技術や経営の改善を支援している。

犬童議員 本村においての農業・農村計画について村としての考えは。

柳詰村長 農業従事者の減少・高齢化が進んでおり、農業を持続的に維持・発展させるために農業を担う農業者を確保、育成するとともに、次世代の担い手への円滑な経営継承を図り、農業経営に意欲ある認定農業

者、法人組織を支援している。

犬童議員 農地の集積を考えた点から、農地を貸したい方と借りたい方をマッチングした農地バンクの登録はできないものか。

永椎産業振興課長 今後、農地の貸し借りについて意見等があったとき対応はしていく。

犬童議員 担い手不足、労働力の問題から村のシルバー人材センター活用が重要だと思われるが28年度の農作業に対する利用状況は。

永椎産業振興課長 農業に関する活用状況では184件拳がっている。高齢化が進む中、担い手が不足する中で、シルバー人材センターの活用は重要な役割である。

犬童議員 農業の担い手の確保、育成の点から、認定農業者の育成、支援については。

柳詰村長 経営改善計画の目標育成、農家経営システムを活用し、経営の実態を把握し、データに基づいた生産技術や経営の改善を支援して



犬童 勝則 議員

いる。

犬童議員 今回、認定農業者会議に村長も出席されたようだが、その時の感想は。

柳詰村長 認定農業者の意見を取り入れ、話し合いながら強い農業の実現に向けて進めていく。

犬童議員 農業者の所得向上、農業生産の拡大の実現に向けた6次産業化の推進、地産地消、食育の推進についての取り組みは。

柳詰村長 球磨村の農産物をPRしながら、中長期的な展開の中で6次産業化を検討、研究している。地産地消、食育の推進においては、安心安全が大前提であるので、食材の確保など体制づくりの構築が必要と考えている。

犬童議員 かわせみの物産館において、農業生産工程の提出義務はできないか。

永椎産業振興課長 より品質の高い

品物を出していただけるよう、きちんとした指導をしていく。

犬童議員 村長自身も全国かわせみ会等で日本全国セールスをされているようだが、これまでの村長自身のトップセールスの評価を。

柳詰村長 栗を使った加工会社と接触はしているが、実現には至っていない。

犬童議員 球磨村しごと創生事業の清流を活用した産業創生事業の黒白地区でのヤマメ・マスの養魚場の進捗状況は。

金業企画振興課長 28年度は水路の補修工事、養殖場の補修整備、防水工事を行い、近口中に二万五千匹の稚魚を入れる段取りである。

犬童議員 販路開拓は。

金業企画振興課長 近くのスーパーで聞き取りをしたり、村内の宿泊施設、飲食店でも調査を終わっているところで、しごと創生事業二年目で、順調に進んでいるところである。

柳詰村長 球磨村ふるさと振興公社が事業主体となり現在二名を雇用して取り組んでいるが、売り上げ計画では、平成30年度から本格的な出荷体制に入り、年間300万円を見込んでいる。



施設化が進む農業

いじめに関する認識は

答

命に関わる深刻な人権問題である。

嶽本議員 日本で最も美しい村連合

に加入し、3年が過ぎようとしている。今後の美しい村づくりの展望を。

柳詰村長 美しい景観が、次の世代

の心を育てるような、真の美しさを
実感できる村づくりのため、行政、
地域がそれぞれ実施可能なものを実
施していく必要がある。そのためにも、
美しい村づくりの推進を住民の方
方に広く周知し、球磨村の美しさを
さらに磨きをかけていきたいと考
えている。

嶽本議員 球磨川左岸の、県道人吉

水俣線の雑木や河川にある竹などの
景観整備はできないのか。

柳詰村長 村では、エヌラルドグリー

ン街道ウォーキングを開催するに当
たり、秋に草刈を実施している。ま
た、山桜やモミジも植林している。
景観整備については、基本的には県
の管理になる。草刈等、年2回ほど



日本で最も美しい村連合のロゴマーク

で、教育委員会と協議して実現でき
たらと思う。

嶽本議員 老人会で、空き缶拾いを

行なう場合、車の通行があり危険な
状況だ。村で、目立つ帽子とか上着
とか購入できないか。

柳詰村長 考えてみたいとは思っ

が、65歳以上の方は約1,800人
おられるので、どうかとは思っ

嶽本議員 次に、学校や職場での、

いじめ対策はどうなっているのか。

瓜生教育課長 現在、学校では、気

になる児童生徒がいる場合は、全職
員で対応策を共通理解し見守ってい
る。そして、児童生徒や保護者から

話があった場合は、被害者、加害者
の事実確認をして、トラブルの原因
や気持ちの行き違いを話し合い、解

消に向けて指導している。

嶽本議員 教育長のいじめに関する

認識は。

友尻教育長 いじめ問題は、命に関

わる深刻な人権問題である。教育活
動を推進する場合、人権教育をベ
スにおいて、学校教育の全ては進
められなければならないという認識
だ。

嶽本議員 役場内でのいじめはない

のか。

大瀬総務課長 役場内でのいじめは

ないものと思っている。

嶽本議員 2月の新聞に、熊本地震

の対応で自殺した職員を公務災害に
認定したという記事があった。そこ
で、昨年の村の職員の場合はどうな
ったのか。

柳詰村長 いじめとか、そのような

ことはなかった。



嶽本 孝司 議員

不登校児童生徒への対応は

答 不登校対策委員会を設置し未然防止や早期発見のため連携を密にしている。

舟戸議員 村長、5つの政策の中で、今年は特に「子どもは村の宝」に力を入れて取り組みたいとの考えだ。

政策を達成するには、子どもと家庭を取り巻く実態を知ることが大切だ。子育てに関する日常の悩みや、気になることなどアンケート調査はしているのか。

柳詰村長 未就学児と小学生の子どもを持つ保護者に、アンケート調査を行っている。その中で、子育てに関して気軽に相談できるのは、祖父母などの親族、友人知人と答えたら人が7割を超えており、未就学児の保護者では半数が保育士と答えている。また、医師、子育て支援センターと答えた人と合わせ、ほとんどの保護者が、身近な悩みについて相談できる人がいるという結果が出ている。

舟戸議員 次に、不登校の現状と分

析、不登校児童生徒への対応はどうしているのか。

柳詰村長 本村では、学校にいじめ、不登校対策委員会を設置し、不登校の未然防止や早期発見のため、学校、保護者、地域、専門機関との連携を密にしている。

瓜生教育課長 今年の長期欠席の児童生徒は6人いたが、現在は2人となっている。4人は、中学校や高校への体験入学に出席し、将来の進路や目標が見つかり長期欠席が解消したものだ。今後も、各機関と連携をとり、児童生徒の課題解消に努めていきたい。

舟戸議員 次に、人吉盆地の断層では、今後マグニチュード7の地震が発生すると予測されている。村内もこれまでの地震で、地盤も緩んでいると思うが。

柳詰村長 どのような対策がとれる

のか、国県の指導をいただきながら真剣に取り組みたい。

舟戸議員 次に、球磨村の魅力を磨き上げ、移住、定住による人の流れを作ることが大切だと思うが。

柳詰村長 現在、空き家バンク登録の促進、移住体験ツアーの実施、移住相談窓口に拡充を大きな柱として事業を進めている。移住希望者からは、すぐにでも住みたいとの意見がある一方、空き家バンクの件数が少ないとの意見があり、提供できる住宅の確保が急務である。

舟戸議員 役場庁舎は耐震工事が実施され、照明もLED化された。これからは、節電対策に取り組みなければならぬと思うが。

柳詰村長 昼休み時間の照明は、来客スペース以外のフロアの消灯に努



舟戸 治生 議員



役場庁舎内も昼休みは消灯

めている。今後、電力の自由化の流れから、電力小売り販売業者との手続を進めており、約15%の電気料削減を見込んだ取り組みを行っている。

舟戸議員 次に、これまでの婚活支援事業の成果は。

柳詰村長 平成26年度から、出会いのきっかけをつくる事業を実施している。26年度は、18人の参加があり1組が結婚に至っている。27年度は16人の参加、28年度は11人の参加だったが、いずれも進展していない。

投資的事業の住宅建設は

答 地域のバランスをとり、力を入れたい。

小川議員 平成29年度最優先事業の考えは。

柳詰村長 1点目が教育施設整備。安心な生活と、安全に利用できる施設の改善改修に積極的に取り組む。球磨中の屋内運動場改良工事は国の

予算が確保され次第補正予算を計上したい。渡小浄化槽トイレの改修は当初予算に計上しており、国との協議を進め早期に取り掛かる。2点目が

が村営簡易水道施設の改修。渡地区は供用開始から30年を経過しており、経年劣化などを起因とした配水管の破損による漏水が頻発し、配水管の敷設替えの時期。29年度計画

策定、30年度から取り組む。3点目が防災体制の充実。ハード事業とソフト事業一体となった総合的な対策を進める。ハード事業は国、県に

よる治水対策と急傾斜地対策事業や村道熊田線改良工事、避難路整

備など取り組んでいる。ソフト事業は球磨川水害タイムラインの検討と

並行して、村民の防災意識の醸成を図る球磨村村民防災会議を設置し、地域の防災力向上に向け、引き続き

検討していく。**小川議員** 施策について村民の理解と協力をお願いすると結ばれているが、村民との対話の場、座談会の考

えは。**柳詰村長** 出向いて村政の報告や意見を伺いたい。**小川議員** 施策を進めた上で、村民

の理解と協力、そして参加が大事だと思う。次に投資的事業の絞り込み

として定住、移住促進に向けた住宅の建設について、増加している空き家対策との関連もあり考えを。**柳詰村長** まち、ひと、しごと創生

い。そのためには住宅建設には力を入れたい。村外からの希望もある。建設については地域バランスをとり

たい。空き家バンクに登録されても、上下水道の完備がされていないなどもあり対策が必要。

小川議員 次に、簡易水道施設の改修について、現在考えておられる方向性は。**柳詰村長** 29年度計画、30年度から

実施。3億程度かかるのではないかと。1期、1年4,000万で補助、起債、水資源整備基金からの繰り入れが考

えられる。**小川議員** 次に、まち、ひと、しごと創生事業について、取り組みの評価の段階にあると思うが現状は。

柳詰村長 平成27年度から取り組ん



小川 俊治 議員



新築の永崎団地（球磨中運動場横）

でいる地方創生加速化交付金事業、総事業費6,700万円で11事業が進んでいる。球磨村しごと創生協議会で審議・採択され、順調に推移していると思う。

小川議員 球磨村村民防災ブロック会議で出された地区での防災勉強会に対する考えは。

柳詰村長 4月から防災管理官を配置し、地域に出向き勉強会、避難訓練などに対応する。資料等も復興まちづくり事業で計画する。

地域の宝「高沢鍾乳洞」

球磨村役場の前を流れている中園川を8キロメートル遡った所に旧高沢小学校があり、その校庭の登り口に高沢鍾乳洞があります。

旧高沢小学校校庭の東南隅に西方に向かって開口した鍾乳洞であって、その入り口部分が洞窟住居跡です。

昭和9年高沢小学校の運動場を広めるため、石垣整理中に土砂を除去させる際に偶然掘り当てたもので、洞窟付近より木炭・灰・縄文土器の破片並びに磨製石斧・貝殻・獣骨等を発見したものです。

本洞窟の内部は相当深く、広く、石筍は大いに発達し美観を呈していますが、その洞窟の北東側に一つの口穴があり、次の大洞窟に連なり、南側にも南下方に降りる口穴があり、約45度の傾斜で落差約5メートル、距離約9メートルの流れ谷に達しています。途中左側(東側)に支洞があり、その中より獣骨を発見したという事は、石器時代の頃、既



高沢鍾乳洞入口



高沢集落

にこの入口居住地より到達していたものと思われる。すなわち縄文時代はこの口穴を降りて行って流れ谷に至り物を洗い、水を汲んでいたものであったと思われる。流れ谷は水量が豊富で、上流の方より上方に参り迷路を伴って西方に回り、入り口北東側に出ることができます。(球磨村誌より引用)

編集後記

桜の花も満開になり、進学・就職 新たな門出のスタートです。

希望と不安の中、新たな地で新社会人としてスタートした人や、進学のため地元を離れた人、複雑な気持ちで送り出されたご家族もおられたことと思います。

過疎化、高齢化が進む中にも自然環境に恵まれた我が村は、都会では感じ得ない魅力を秘めています。次世代を担う若者達が積極的に村づくりに参加し、その魅力をいかに発信できるかが今後の村づくりの鍵となると思います。全村民の方々とともに創造性豊かな村づくりを目指しましょう。

高澤 康成

議会広報特別委員会

委員長	多武 義治
副委員長	犬童 勝則
委員	小川 俊治
委員	高澤 康成
委員	宮本 宣彦